© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

『１００％フレッシュアップル』
～貴方の声を聞かせて～

――上京してわたしが理解したこと、それは――
この街の冬は、理不尽だってこと……。

そもそも雪を降らせようか、どうしようか、そんなことでお天道さまが迷ってる間にも、わたしの一日はものすごい速さで暮れていくんだよ。
だから、少しでも立ち止まって考えはじめちゃうとさ、足早にアスファルトをたたくヒールの音も、ウィンドウに写っては消えていく恋人たちも、わたしとは一線を画した別世界の存在のような気がする訳なんだよね。

――きっとまた、わたしとこの街は――
少しずつズレていく……。

こんちはーっ、蛙坂来弥です。忍びの里から上京して、やっぱバイトはメジャーな場所の方がいいかなーって思ってさ、わたしは歌舞伎町の外れにあるコンビニでバイトをはじめたんだよね。
それから季節は流れたんだけども、やっぱこの街の冬はさ、どこか他人行儀で味気ないんだよね。
だから、バイトが終わるたびに消えることのないネオンを見上げては、
「わたし、何してるんだろ……」
って、柄にもないセンチメンタルがこの季節特有の西高東低で襲ってくる毎日を送っていたんだよね。
いやいやー、わたしだってさ、それなりに女子高生して、それなりにアクトレスして、それなりに忍びして。

――そう、それなりに――
同じことを繰り返すだけの日々……。

そうやってわたしの毎日は無為に流れていき、普通に就職をして、成人式を迎えてもそれは変わらなくって、人生のマニュアル通りに色んなことを恙なく消化していって、年を重ねていって、シワシワの可愛いお婆ちゃんになってって。
そうやってさ、過不足なくエンドロールを迎える

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

予定だったの。
決して諦観してるとか、そんなことじゃなく、きっとそうなっていくように始めからすべて予定調和に物事が組まれている感じだったんだよ。

――なのに――

突然、貴方は目の前に現れた……。

午後七時四十五分――わたしがバイトを終える一時間十五分前きっかり――あの人はやってくる。
今日もビション・フリーゼを連想させる可愛らしいゆるふわパーマがかけられた今紫色の髪は綺麗にまとまっていて。
パールのカチューシャは遠慮がちだけどしっかりと存在感があって。
そんなチョイスをしちゃうセンスが、きっとこの人の思慮深さと、意志の固さを体現しているような気がするのは、わたしだけ？

でさ、その人は……うーん、いつまでも〝あの人〟とか〝その人〟って呼ぶのは、わたしとしては不本意だからやっぱ〝セイナさん〟って呼ばせてもらうことにするね。

――たった一度だけ、わたしは聞いた――

貴方がそう呼ばれているのを……。

そんでさ、〝セイナさん〟はいっつも決まった時間に来て、ストレート果汁１００％（もちろん、無添加だよ）の林檎ジュースを買っていくんだ。
きっと林檎が好きなんだなーって、わたしは思ってて……はい、そうです、そうですよ。

――わたしは貴方のことを――

それ以上、知らない……。

だってしょうがないでしょ。
目下の所、わたしは毎日とびっきりの笑顔で「いらっしゃいませーっ」って声をかけて、細心の注意を払って（それこそ当たり障りのない天気の話なんかしてさ）、ウザがられたりしないように、変なヤツだと思われたりしないように距離を縮めることに

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

奮闘努力を重ねてる最中なんだからね。

――なのに――

貴方はいつも微笑むだけ……。

いやー、きっとさ、ものすごーっくシャイなだけなんだよ、〝セイナさん〟は。

断じてわたしがドンビキされてるとか、そういうことではないはずだと自分に言い聞かせながら（そうしないとやってられないよー）、最近のわたしの目標は、〝セイナさん〟の声を聞くことになったの。そのためなら獅子奮迅の活躍をしてみようと決心したばかりなんだよ。

まー、そこはさ、わたしだって子どもじゃないんだし、わかってるよ。

そう、わたしは貴方じゃないし、貴方はわたしでもない。

変なとこで重ねたらダメだってことも。

コンビのバイトとお客さんってことも。でもさ、気になっちゃうんだよね。

だって貴方の笑顔はわたしと同じように

――酷く寂しそうだった――

だからわたしは貴方の声が聞きたくなって……

ここは歌舞伎町。

大都会東京シャードの中でもひと際たくさんの人たちがいて、そのたくさんの人たちはそれぞれ大なり小なり何かしらクチにできない事情を抱えていて。

そのボーダーを飛び越えないギリギリのお察し能力を人々はコミュ力って呼んでて、それを……うん、そんなことわかり過ぎてるくらいわかってる。

きっと踏み越えたら貴方に二度と会えなくなることも。

だから、また今日もさ、午後七時四十五分がやって来て、貴方もわたしもいつもと同じことを繰り返すはずだったんだけど、ただ、いつもと違うことといえば。

――目の前の貴方は、どうして頬を濡らしているの

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

――
そんな顔されたら……わたし……
「店長ーっ、レジ、お願いします！　わたし、休憩いってきますー」
貴方の手を取って駆け出してしまうじゃんか。
「あ、あの……」
うん、わかってる。わかってますよー。勢いで手を引いてきてしまったんだからね。
氏素性も知らないコンビニのバイトに手を引かれるなんて、普通に生きてたらそうそうあることじゃないってゆーか……。
それより、これ犯罪じゃね？
えぇーっ、わたし、何してんのー!?
「えっと、あの、これはですね……わたしなりに深ーい事情があったというか、なんというか」
「ごめんなさい……こっだらみっどもねぇ姿を見せでしまっで……でも、あなだを見てだら……」
「え、いえ、そんな、わたしの方こそ、その……お節介で……」
「……あの、わだす……」
やっぱり〝セイナさん〟は青奈さんで、ご家庭に複雑な事情を抱えていて、それでわたしと同じように地方から東京に来てて、今は夜のお店で働いてるんだって。
おずおずと語る言葉は、時折わたしが耳にしたことのないアクセントが混ざっていたけど、そんなことは関係ない。
だって、わたし、今、夢にまでみた貴方の声を聞いているから。
貴方の音域は、わたしが想像していたよりも、何倍も何十倍も優しかった。
だからなんだろね。
貴方にそんな顔をさせる、歌舞伎町が、この街が、この世界のすべてが
わたしには憎らしく思えちゃってさ。

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

「わたしなら、ぜったいそんな悲しい顔させないよっ！」
「え？」
「あ、い、いやー、これは、その、ものの例えっていうか……」
本当にそうなの？　違う、わかってる。
なら言うの？　無理、言えるわけない。
諦めるの？　やだ、そんなの。

――じゃぁ、どうしたいの？――
わたしは……貴方に……。

「わ、わたし、ずっと……」
ふと、貴方の手がわたしを引き寄せた。

――あぁそっか……そういうことだったんだ――
わたし、貴方の声が聞きたかったんじゃない。
わたしは貴方に、わたしの声を聞いて欲しかったんだ。

「もう大丈夫だべ……わだすが側にいるがら……」
重ねられた貴方から林檎の味がした。
うん、やっぱりこの街の冬は、理不尽だ……。

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

<後書きに代えて――お手に取って頂いた皆様へ、心から感謝を込めて――>

たくさんの人たちがいて、たくさんの営みが続けられているというのに、時折、木枯らしが吹くと、なぜだか自分だけが世界中で独りぼっちになってしまったような、そんな感覚に襲われる。
そんな経験をしたことはありませんか？

そんな気持ちに包まれた時は、ほんの少しだけ、勇気を出してみては。
全ての勇気が報われるなどと言うつもりはありません。
だけれども、それでも、やっぱり、伝えなければ想いは届かない……。

諦めること、勇気を出すこと、どちらも簡単ではないのだけれど、精一杯の勇気を奮って伝えた言葉たちは、いつか小さいけれど強く、美しい花を届けてくれるはずだと、そう信じながら、このお話を考えてみました。

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

アリス・ギア・アイギス
alice gear aegis

チラ裏

# 2Dデザイナーによるウスイホン語り

※キャラ代理でお送りします

## ～フレッシュアップル編～

これは物議を醸した表紙ですね～
とりあえず表紙を見た瞬間にアートDがエロ本では！？！って言ってたのが印象深いですぼくもそう思う

ぼくもそれが一番記憶に残っている…全然えっちじゃないのになあ
でもおっぱい描くのはたのしかった

おっぱいへの愛を感じるとてもよい谷間です。しかし中身はピュアなのに漂うこの感じ…
歌舞伎町のネオンに照らされた向かいあう二人が素敵な構図ですね

しかも二人が恋人つなぎをしている…！注目

来弥の日に日に募っていく気持ちがもどかしくてたまらないんですよ

来弥ちゃんの可愛さが520%だったと思います！わんこ攻めというか…
最後決めるとこ決めたのは年上らしくえり、というのも驚きのゴールでとても良かったです

歌舞伎町の純愛…

映画化する時のキャッチコピーが決まりましたね

ところでなんでタマちゃんは青奈さんを知っているのか…
成子坂七不思議

ありがとうございました！

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.

© 2017-2019 Pyramid,Inc. / COLOPL,Inc.